

館報 はた

スージーちゃん スイカ7くん

平成30年9月1日現在

世帯数	6,149戸
人口	15,739人
男	7,591人
女	8,148人

25区 納涼夏まつり



7月21日 (土) 25区町会におきまして、毎年恒例の納涼夏まつりが行われました。

6月中に梅雨明け宣言が出た後、連日真夏日、猛暑日が続く、身体に危険な暑さが続くと注意報が発令されました。この日も厳しい暑さが続きましたが、夕方の涼を求めて、また区内懇親を深める納涼にふさわしい催しとなりました。区役員さん、また各組長さんの尽力により着々と準備が整い、年配者から子どもまで多くの方々が集うことができました。午後6時から町会住民の交流拠点の一つである北原西公園に、子ども手作りの燈籠に灯が入り、明かりに照らされた顔に愉快な様子うかがえました。

昭和52年にこの地区に北原

団地が造成されてから早くも40年の年月が過ぎ去ろうとしています。納涼夏まつりは少しずつ様子を変えながら続いています。25区に新しく造成転居された方々も多く、また子どもたちの参加も多くなり、「水ヨーヨー」「綿あめ」「溪流いわな掴み」「花火」「ビンゴゲーム」など盛りだくさんの催行があり、猛暑を忘れさせるひと時となりました。

納涼夏まつりに先立ち、「溪流いわな掴み」がおこなわれ、臨時の手製プールに溪流魚が放流され、多くの子ども達が水浸しになりました。魚を追い、またそれを見守る大人の声援がひびき一服の清涼を感じました。一部納涼夏まつりの中で「いわなの塩焼き」に姿を変えて振舞われるなど活気に満ちた催しとなりました。なかなか外で懇親することも少ない中、貴重な時間を共有できたと感じています。最後にビンゴゲームで一喜一憂する老若男女がそこには居て、楽しい時間が過ぎました。

この納涼夏まつりが継続継承していくにあたり、より多くの若者や年少者の参加を切望し、25区住民の高齢化による停滞化を払拭する、新旧住民および世代間の交流活性化に繋がる一助になれば、貴重な交流の場として貢献できると感じました。



23区 分館清掃

8月5日に23区町会では日頃お世話になっている23区公民館の清掃を行いました。今年も例年になく猛暑の為、朝8時半〜1時間位を予定して行い、外壁・窓ガラス・水廻り・食器・草むしりにいたるまで行いました。

23区では1〜3組・4〜6組と2班に分け、今年はこの班といった様に行います。一年に2回行うので出られなかつたら次にといった感じですが、みなさん一生懸命やっ



てくれるので、助かります。今回も35人の方々に出てもらい分担を決め、汗をかきながら頑張つて、およそ朝9時半には無事終わる事が出来ました。

終わってみると、みちがえる様にきれいになり「頑張ったかいがあったね」や「ほんときれいになったね」といった声がありました。

最後には1人1本ジュースを持って行つてもらい終了しました。日頃、お世話になっている所がきれいになる事がこんなにうれしく思える今の気持ちをお大切にしながら、公民館を大事に使っていきたいです。



大会結果 町内公民館対抗 ソフトバレーボール

7月1日(日)に開催され、女子9チーム、男女混合21チームが参加しました。

優勝	10区
準優勝	9区
第3位	19区、20区

女子

優勝	26区
準優勝	27区
第3位	3区、6区

男女混合

10区、26区の皆さん優勝おめでとうございます。選手の皆様さんお疲れ様でした。



24区 子ども達の夏休み 「カレー会」と「花火大会」



お母さん達は汗だくでしたが、皆の喜ぶ顔に暑さも吹き飛んだ様でした。本当にお疲れさまでした。 8月5日

7月29日、区のPTA主催の「カレー会」が公民館でありました。小学生12名が2人のお母さんの指導のもと、皆で野菜を切ったり肉を切ったりの下準備をして煮込みました。お母さん達が驚くほど、子ども達は上手に皮を剥いたり切ったり出来て、日頃の家庭でのお手伝いがしつかりできていると、とても感心してました。煮込んでいる間、子ども達は紙飛行機を作って飛ばしたりして遊び、さあ、いよいよお昼です。高学年の子が盛り付けをして「頂きます」の挨拶のもとさっそく口へ。サラダとともに瞬く間にお皿が空になりかわりする子もいてとても美味しく賑やかな「カレー会」になりました。皆で一緒に作って食べるという喜びも味わったことでしょうか。



分館とPTA共催による花火大会が分館の庭で催され、子どもから大人まで大勢の参加がありました。日の少し落ち始めた7時に、庭にテーブルを出し、役員の方が切った旬のスイカがいっぱい出されて皆で喉を潤しました。その後館長から子ども達に手渡された花火で約1時間、子ども達も付き添いのお父さん、お母さん、近所の方々も共に歓声を上げながら楽しみました。お父さん達が大きな打ち上げ花火に点火すると賑わいは最高潮。大いに盛り上がりました。夜空にパッと光り輝く夏の風物詩に、子どもから大人まで暑さも忘れ楽しんだ一時でした。子ども達にとっては、今年の夏休みの素晴らしいコマとなったことでしょうか。

4区 夏祭り



8月13日、4区の夏祭りが和田堰周辺を会場として開催されました。4区には、昔からお盆の伝統行事として、盆火が行われていて、それに合わせて夏祭りが行われるようになり、13日、御先祖様をお迎えする迎え火、16日に送り火が行われる伝統行事で盆火が流されます。8月11日には、盆火保存会の皆さんと小学生の合同で盆火作りを行いました。作り方は稲藁で棒状の物を作り6本を組み合わせて、中に稲藁を詰めて完成させて、中に稲藁を詰めて完成。小学生も教わりながら楽しく作っていました。大盆火、中盆火、小盆火と合わせて百基以上が完成し準備が終了。昔は、中学2年生が上で、子ども達だけで作成していたそうです。



祭りは、直前の夕立ちも上がり涼しくなり、消防団のラッパ吹奏、実行委員長の開会宣言で始まり、盆火が火を灯してゆつくりと川を流れる中、委員会、組長の皆さんが模擬店を出し、子ども達が大好きななつき水、フランクフルト、綿飴、ポップコーン、串焼き、飲み物色々和格安に提供され、どのお店も大忙しです。また、七夕飾りコンテストも行われ、それぞれ工夫をこらした見事な七夕が並びました。 子ども達の一番の楽しみは、ビンゴゲーム。委員会からの景品や各家庭から持ちよられた景品が所狭しと台上に並び数字が読み上げられると、ビンゴと大きな声が上がります。各自好きな景品を選んでいました。楽しい時間も、あつという間に過ぎ9時過ぎに終了。終りに準備、片付けをしていただいた多くの方々ありがとうございました。来年も楽しい祭りが開催されますように。



波田地区北側には梓川が流れ、上流には、梓川三ダムと云われる、奈川渡、水

このダムがまだ無い昔は、台風、大雨等による河川の氾濫で堤防がえぐられたり、災害が発生したりと良い事はありませんでした。 しかし、このダムが出来てからは、出水時に上流の水をダムに貯水し、計画的な放流で、農業用水として田畑へ配水したり、川魚の繁栄のために水量を調整し下流域への活性に繋がっています。 今、そのダムを写真に撮り指定店で見せるとダムカードが貰えます。指定店は、奈川渡ダムが沢渡グリーンパーク、水殿・稲核ダムが風穴の里です。 松本平には色々な種類のダムがあります。梓川のダムはアーチ式ですが、大町市には石を積み上げたロックフェル式の高瀬ダムがあります。ダムに興味のある方は、これからの季節、紅葉をバックにぜひその壮大なダムを目に焼き付けて感動し、また、地域への環境や治水利用の役割を学習するのも良い経験かも知れません。